

## CAEBV 国際シンポジウムプログラム（暫定）

3 月 19 日（木曜日）		
18:00	ウェルカムレセプション	場所未定

3 月 20 日（金曜日） 情報共有・交流		
9:15 - 9:30	開会のあいさつ（新井）	共用講義室
9:30 - 11:50	教育セッション（140 分） 座長（金沢大学 和田泰三）  18 分×3 演題  病態（聖マリアンナ医科大学 新井文子）  診断（Benjamin Fournier, INSERM, Imagine Institute, France）  皮膚（岡山大学 三宅智子）  （short break） 18 分×4 演題  病理（シカゴ／東京科学大学 山本浩平）  治療（大阪母子医療 C 澤田明久）  予後因子（聖マリアンナ医科大学 伏屋愛加）  EBV-HLH （ Baylor 医科大学、Nader El-Mallawany）	（コーヒーエリアなし）
11:50 - 12:00	バッファー	
12:00 - 12:50	ランチョンセミナー （演者 国立がん研究センター 蒔田真一 座長 東京科学大学 山本正英） テセントリクの ENKTL への適応拡大について	協賛：中外製薬

12:50 - 13:10	休憩 (20 分)	コーヒー① am 菓子
13:10 - 14:25	<p>ウイルス学 (75 分)</p> <p>座長 (千葉大学 金田篤志 東北薬科大学 神田輝)</p> <p>12 分×6 演題 (10 分講演 質疑応答 2 分)</p> <p>EBV ゲノムと地域性、疾患特異性 (東北医科薬科大学 北村大志)</p> <p>ゲノム解析 (名古屋大学 佐藤好隆)</p> <p>EB ウイルスによる宿主細胞のエピゲノム制御 (千葉大学 磯貝俊太郎)</p> <p>EBV 陽性腫瘍は本当に「潜伏感染」なのか? (金沢大学 近藤悟)</p> <p>チリにおける HTLV-感染症 (Claudia Cabezas)</p> <p>ルーマニアにおける HTLV-1 感染症 皮膚科の視点から (Tutu)</p> <p>(short break)</p>	(コーヒーエリア残り)
14:30 - 15:20	<p>招待講演 (50 分)</p> <p>座長 (聖マリアンナ医科大学 渡邊俊樹)</p> <p>HTLV-1 (熊本大学 安永純一郎)</p> <p>HAM (聖マリアンナ医科大学 中島誠)</p>	
15:20 - 15:40	休憩 (20 分)	コーヒー② pm 菓子
15:40 - 17:30	<p>研究発表 (110 分)</p> <p>座長 (東北大学 笹原洋二/久留米大学 三好寛明)</p> <p>12 分×9 演題 (10 分講演 質疑応答 2 分)</p> <p>iPS (東京科学大学 西尾美和子)</p>	発症機序/新規治療①

	<p>空間解析（シンガポール Ho Guiyi）</p> <p>サイトカイン（聖マ 上村悠）</p> <p>Genetic mutations in CAEBV（仏 Antoine Gonde, INSERM, Imagine Institute, France）</p> <p>MDSCs（英 Claire Shannon-Lowe）</p> <p>エピゲノム機序（京都大学 赤澤嶺 小児科教室）</p> <p>PD-1（韓 Seok Jin Kim）</p> <p>Tf 抗体（大阪大学 幸谷愛）</p> <p>CTL 治療（順天堂大学 安藤美樹）</p>	
17:30- 17 : 45	休憩（15 分）	（コーヒーエリア残り）
17:45 - 18:45	<p>ケーススタディ（計 60 分）</p> <p>座長（聖マリアンナ医科大学 安井寛）</p> <p>CAEBV 導入講演（15 分）（聖マリアンナ医科大学新井文子）</p> <p>症例 2 例</p> <p>1) 初感染で免疫異常のない EBV-HLH に移植は必要か？（聖マリアンナ医科大学 石川歩璃）</p> <p>2) TBD</p>	
19:00 - 20:30	親睦会	ファカルティラウンジ
3 月 21 日（土曜日）患者支援、診療、研究の発展のための検討		
9:00 - 11:00	<p>ワークショップ（120 分）</p> <p>座長（聖マリアンナ医科大学新井文子）</p> <p>1) レジストリ（60 分）日本フランスは 10 分</p>	

	<p>それ以外は 7 分 適宜調整)</p> <p>日本の状況と国際レジストリの提案 安井 10 分</p> <p>各国における CAEBV の発症状況</p> <p>韓国 (Hyery)</p> <p>フランス (David)</p> <p>イタリア (Federico)</p> <p>ルーマニア (Bianca)</p> <p>チリ (Macarena Roa)</p> <p>中国</p> <p>アメリカ (Nader)</p> <p>(short break)</p> <p>2) 国際研究会 (International CAEBV Consortium) 発足に向けたディスカッション (55 分)</p>	
11:00 - 11:15	休憩	コーヒー③ am 菓子
11:15 - 12:20	<p>研究発表 (65 分)</p> <p>座長 (大阪母子医療センター澤田明久)</p> <p>12 分×5 演題(10 分講演 質疑応答 2 分)</p> <p>レジストリ研究 (聖マリアンナ医科大学 脇坂朱遥)</p> <p>新規 EBV 治療薬 (東北大学 児玉栄一)</p> <p>ASO (東京科学大学学生)</p> <p>EBV 由来マイクロ RNA は治療標的になり得るか? (島根大学 飯笹久)</p> <p>フランスにおける CAEBV の治療 David Boutboul (Imagine Institute, France)</p>	病態/新規治療②
12:20 - 12:25	バッファー	
12:25 - 13:15	ランチョンセミナー	協賛: LSI メディエンス

	(演者 東京科学大学 金兼弘和 座長 聖マリアンナ医科大学 安井寛)	
13:15 - 13:30	休憩 (15 分)	コーヒー④ pm 菓子
13:30 -	交流会 第1部 (xx 分) CAEBV 患者会 SHAKE (日本)	ファカルティラウンジ
- 15:30	交流会 第2部 第1会場講演 (茶話会形式) ✓ CAEBV の診断について (安井) ✓ CAEBV の治療について (山本正英) ✓ CAEBV 患者会 SHAKE (日本) ✓	お茶会  ファカルティラウンジ
15:30 - 15:40	閉会のあいさつ (新井先生)	

---